



情報共有・管理の効率化で業務の生産性向上へ

Teams、SharePoint の運用リスクを減らす AvePoint Cloud Governance

はじめに

リモートワークにおける生産性向上や効率化において、情報の共有・管理は不可欠な要素です。そのため近年では、社内SNSやチャットツール、共有ストレージ、グループウェアの活用が当たり前となっています、特に、利用されているのが Microsoft 365 で利用できる Teams と SharePoint でしょう。

この二つのツールは、情報の統合管理や検索性の向上、さらには業務プロセスの効率化など、日々の業務において多くのメリットがあります。一方で、その運用の負担が特定の担当者に集中することが課題です。この資料では、その運用負担と運用リスクを軽減するための解決策として有用な AvePoint Cloud Governance の機能・特長を紹介いたします。

CONTENS

社内クラウドのメリットと課題

社内クラウドは、大きなメリットを生み出している	2
社内クラウドの増加に伴う、情シスの負担増とは？	3
適切に管理できていない Teams や SharePoint におけるリスク	4

運用管理を自動化する AvePoint Cloud Governance

M365、Teams、SharePoint の運用業務を自動化	7
チームやサイトの自動プロビジョニング	8
ライフサイクルポリシーの自動適用	9
運用管理タスクの自動化	10
AvePoint Cloud Governance の運用フロー（例）	11
AvePoint Cloud Governanceの主要機能	12

AvePoint Cloud Governance に関するテクバンの支援

サービス紹介

テクバンの導入支援サービスの特長とは？	16
Microsoft 365 導入後の支援にワクコレの活用を！	17

社内クラウドの増加に伴う、情シスの負担増とは？

導入や運用には、多岐にわたる作業が必要

社内クラウドの導入や運用には、多岐にわたる作業が必要です。しかもこれらの業務を担う情シス部門は、日々の業務に加えて、これらの社内クラウドの利用者へのサポートを行わなければなりません。社内クラウドを効果的に活用するためには、この情シス担当者の負担軽減も視野に入れる必要があるといえます。

	プロビジョニング	セキュリティ管理	ライフサイクル管理	全体管理
利用者	チーム作成・設定作業	ユーザーの追加・削除	使わなくなったファイルの断捨離	設定内容の変更
	チームの所有者・ユーザー登録	アクセス権限の変更	使わなくなったチームの断捨離	組織改編時の移管作業
	ゲストアクセスユーザー追加	チーム所有者の変更	容量・利用期間延長申請	出向者・退職者のデータ移管権限引継ぎ
IT部門	個別申請受付・作成手続き	ゲストアクセスユーザーの監視・通知	消費ストレージの監視・通知	設定内容の監視・通知・変更
	チームの監視・台帳管理	アクセス権限確認の依頼通知	未使用チームの監視・通知	組織改編に合わせたサイトの分割や統合・権限変更
	ゲストアクセスチームの監視・通知	所有者不在チームの監視・通知	容量拡張・期間延長受付・設定	出向者・退職者のデータ移管権限引継ぎ代行作業

(出典) AvePoint者提供「AvePoint Online Services 概要」より

M365、Teams、SharePoint の運用業務を自動化

Teams/SharePoint の運用管理業務を自動化し、管理を容易に

AvePoint Cloud Governance は、社内サイトの運用・管理を自動化し、それらのガバナンス維持とIT部門の負担軽減を実現する SaaS ソリューションです。Teams/SharePoint の運用管理業務を自動化し、適切なメンテナンス・管理アクションを簡単に実行することが可能です。



チームやサイトの 自動プロビジョニング

この機能により、管理者は手動でチームやサイトを作成する手間を省くことができます。さらに、プロビジョニングプロセスの自動化により、ヒューマンエラーを削減し、時間とコストを節約することができます。



ライフサイクルポリシーの 自動適用

チームやサイトが作成されたときに、適切なポリシーが適用され、データの保護やコンプライアンスの規制を守ることが可能に。ポリシーの自動適用により、管理者は手動で適切な設定を行う手間を省き、誤設定のリスクを最小限に抑えることができます。



運用管理タスクの自動化

自動的に古いデータを削除し、ストレージスペースを開放することが可能。また、チームやサイトの利用状況を監視、ストレージスペースの最適化データの整理整頓も容易に行えます。管理者は手動でタスクを実行する必要がなくなるので、負荷の軽減を実現します。